



感動できる人生を、
いっしょに。

2025年度 第1四半期 業績概要

(2025年6月30日に終了した3カ月間)

2025年8月7日
ソニーフィナンシャルグループ株式会社

注記

ソニーフィナンシャルグループ（以下「ソニーFG」）は、ソニーフィナンシャルグループ株式会社（以下「SFGI」）と、その傘下のソニー生命保険株式会社（以下「ソニー生命」）、ソニー損害保険株式会社（以下「ソニー損保」）及びソニー銀行株式会社（以下「ソニー銀行」）、ソニー・ライフケア株式会社（以下「SLC」）、ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社（以下「SFV」）ならびにそれらの子会社及び関連会社から構成される金融サービスグループを指します。

SFGI、ソニー生命、ソニー損保及びソニー銀行の業績（連結・単体）は、それぞれ日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、SFGIの親会社であるソニーグループ（株）（以下「SGC」）が開示する連結業績の準拠する国際財務報告基準（以下「IFRS」）とは異なります。なお、本資料では、資本市場における国際的な財務情報の比較可能性の向上ならびにSGC及びソニーFGが重視する長期視点での経営に適した経営指標を示す観点から、ソニーFG各社のIFRSにもとづく過去の業績及び将来の目標値を開示していますが、SGC及びソニーFGはこれらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。これらのIFRSにもとづく開示は、日本の会計基準に則って開示されるSFGI、ソニー生命、ソニー損保及びソニー銀行の経営成績を代替するものではなく、追加的なものとしてご参照ください。本資料に記載されているSFGI、ソニー生命、ソニー損保及びソニー銀行のIFRSにもとづく過年度の業績及び将来の目標値は公認会計士又は監査法人の監査及びレビューを受けていません。

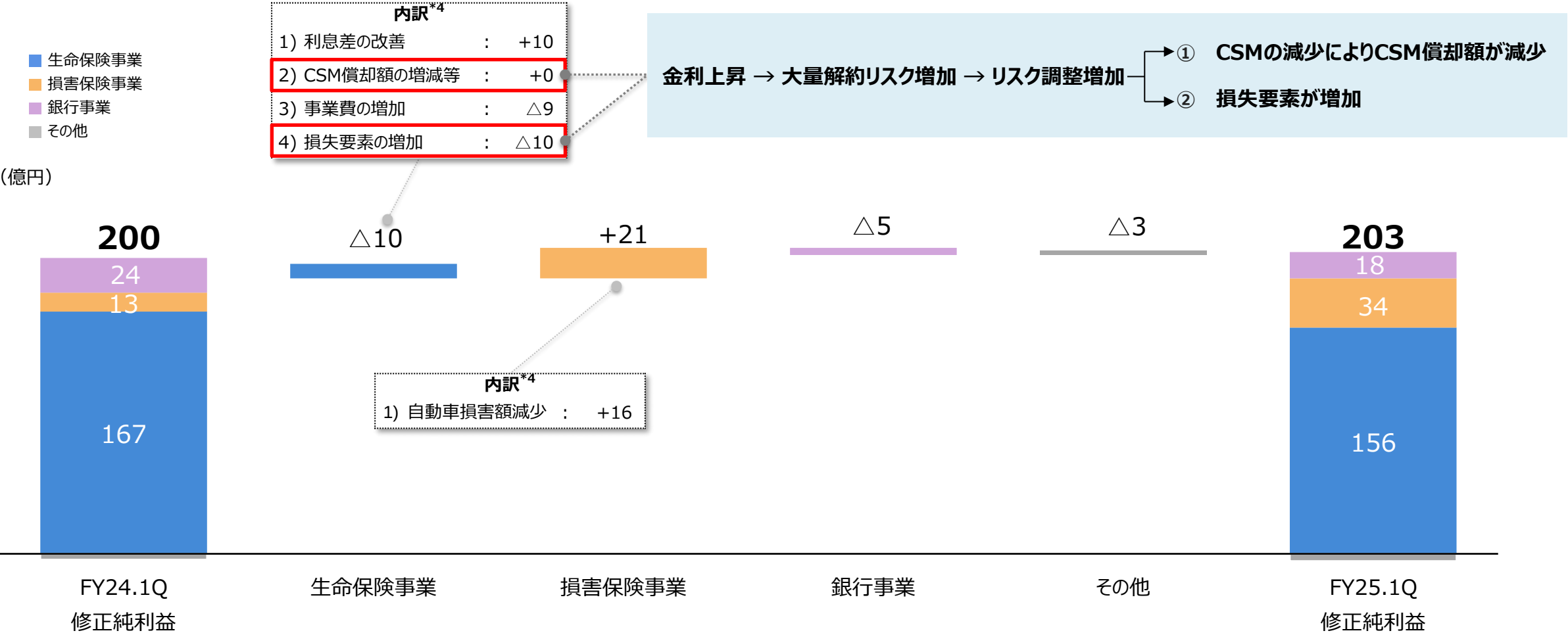
本資料に掲載されている表示単位未満の数値や比率・増減率は、特に記載のない限り、四捨五入又は切り捨てで表示しています。

「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標です。その他、本説明会資料に掲載されている会社名・商品名は、各社の商標又は登録商標です。

本資料に記載している修正純利益は、一時的な損益の影響を含まないことから、事業の持続的な収益力を表すとともに、金融事業を含むソニーグループ全体の投資とそのリターンの循環による中長期での事業拡大をマネジメントの観点から確認することができると考えています。これらの経営指標は、IFRS及び日本の会計基準に則った開示ではありませんが、SGC及びソニーFGはこれらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。修正純利益は、IFRSに則って開示されるSGC及び日本の会計基準に則って開示されるSFGI、ソニー生命、ソニー損保及びソニー銀行の経営成績を代替するものではなく、追加的なものとしてご参照ください。

グループ連結修正純利益（IFRS）*1の状況

- 損害保険事業で自動車保険の損害額が減少したことなどにより、2025年度第1四半期の連結修正純利益は203億円（前年同期比+3億円）
- 生命保険事業では、金利上昇に伴い大量解約リスク*2に備えるリスク調整*3が増加したことなどにより減益



*1 修正純利益はIFRS及び日本の会計基準に則った開示ではありませんが、ソニーFGは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。修正純利益の算定式及び調整の詳細についてはP7・8を参照

*2 全保有保険契約の3割が一度に解約された場合に失われる保有契約の経済的価値（保険負債と解約返戻金との差額）を見積もったもの

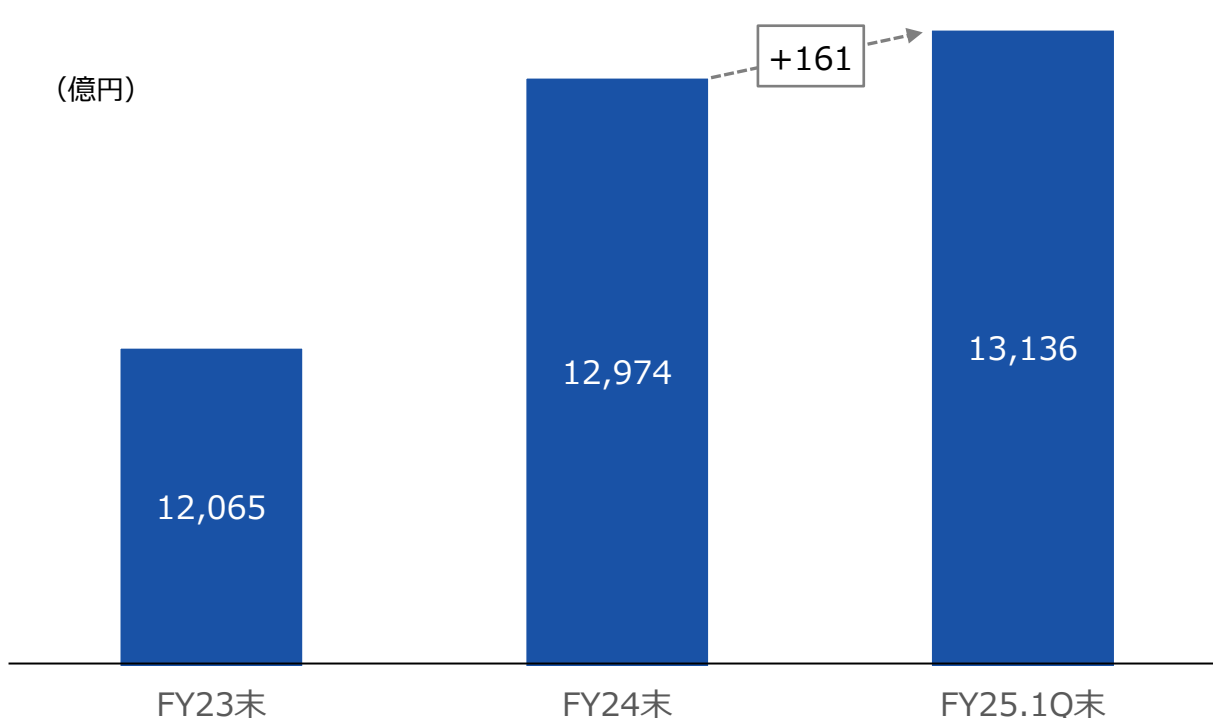
*3 非金融リスクに係るリスク調整。保険契約キャッシュ・フローの不確実性への備えとして計上される負債であり、時間経過に伴い収益に計上される。大量解約リスクは非金融リスクに係るリスク調整の一部

*4 内訳数値は概算値

ソニー生命 | 販売チャネルの状況

- ・ ライフプランナーチャネルを中心に法人向け販売が堅調に推移し、保有契約年換算保険料は増加
- ・ ライフプランナーや代理店サポーターの採用も順調に推移し、販売チャネルの陣容も拡大

保有契約年換算保険料*1の推移



販売チャネルの陣容は順調に拡大

ライフプランナー
対前年度末純増数
(FY25.1Q)

+21 人

FY25.1Q末

5,816人

代理店サポーター
対前年度末純増数
(FY25.1Q)

+34 人

FY25.1Q末

299人

*1 保有契約年換算保険料は個人保険と個人年金保険の合計

財務基盤強化に向けた施策として債券売却^{*1}・デリバティブ取引を実施

ソニー生命ESRの改善効果

+ 3 pts^{*2}

ESR（実績）

FY24.4Q末

グループ連結 **189%**

ソニー生命 **168%**

40年JGB^{*3} **2.69%**

FY25.1Q末

グループ連結 **184%**

ソニー生命 **163%**

40年JGB^{*3} **3.09%**



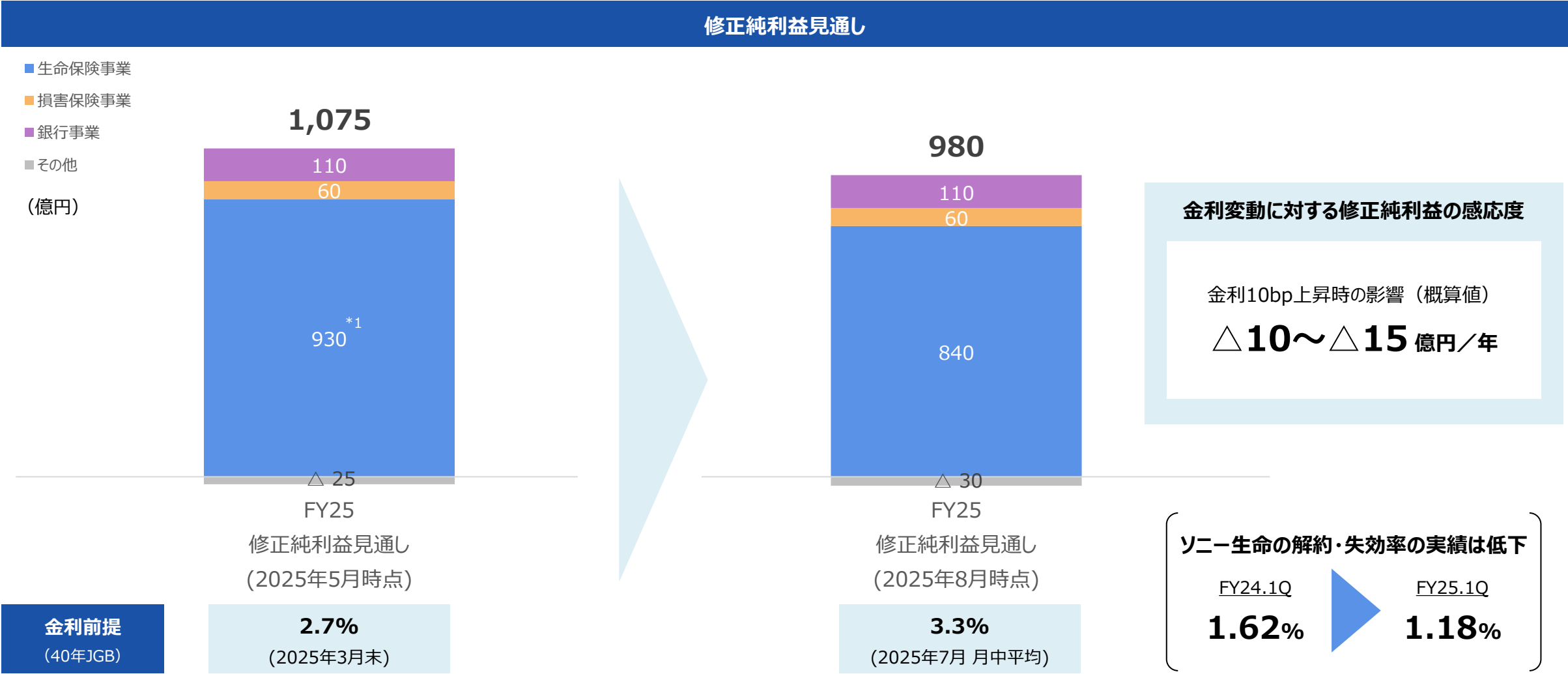
^{*1} FY25.1Qにおける有価証券売却損益として△1,021億円を計上。当該損益は修正純利益からは調整項目として控除

^{*2} FY25.1Qにおける財務基盤強化に向けた施策の効果

^{*3} 日本国債（Japanese Government Bonds）（次頁以降も同じ）

FY25通期業績見通し（IFRS）

- 7月末までの金利上昇を受けて、大量解約リスクの増加に伴う会計上の負債計上を織り込み、修正純利益の通期業績見通しを下方修正（税引前利益見通し600億円は変更なし）
- FY25期末配当予定額250億円（年換算500億円相当）の方針は変更なし



*1 ソニー生命単体から生命保険事業へ表示単位を変更したことにより、金融Investor Dayで開示した数値と異なります

上場に向けた準備

2025年
8/8(金)

■ 東京証券取引所に上場本申請予定

■ SFGI取締役会にて株式分割・上場後の自己株式取得枠の設定を決議予定^{*1}

【取得枠の主な内容（予定）】

取得し得る株式の総数 : 10億株^{*2}（上限）
（発行済株式総数に対する割合：14%）

株式の取得価額の総額 : 1,000億円（上限）

取得期間 : 2025年9月29日～2026年8月8日

9月上旬

■ 上場承認の見通し

9/29(月)

■ 上場予定日

^{*1} 上記の取得枠に基づく自己株式取得は、SFGI普通株式が東京証券取引所（プライム市場）に上場することを条件として実施。また、市場環境又は法令、取引所規則等により、一部又は全部の取得が行われない可能性もあります

^{*2} SFGIは2025年8月8日付で株式分割の実施を予定しており、上記の株式数は当該株式分割考慮後

(参考) 修正純利益の定義 (FY22以降)

- 当期純利益から市況変動や一時的な要因等を除き、ベースとなる利益の成長を測定する指標として、「修正純利益」を導入

ソニーFG連結 修正純利益		SFGI連結当期純利益 - 調整項目
調整項目 (全て税引後)	生命保険事業	投資損益のうち変額保険関連損益*1・為替差額（除くヘッジコスト相当分等*2）
		保険金融損益のうち変額保険関連損益*3・為替差額
		有価証券の売却損益
		その他一過性の損益
	損害保険事業、 銀行事業、 その他	一過性の損益

*1 変額保険・変額個人年金保険見合いで有する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じるもの
*2 ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト。純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定（FVO指定）した債券から生じる当期の経過利息（期首金利に基づく）を含む
*3 変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動ならびに金利及びその他金融リスクの変動による影響

(参考) 当期純利益から修正純利益への調整表

	(億円)	
(IFRS)	FY24.1Q	FY25.1Q
税引前利益	299	△341
税引後当期純利益	214	△244
生命保険事業関連調整項目	△14	448
投資損益のうち変額保険関連損益*1・為替差額（除くヘッジコスト相当分等*2）	△2,181	△700
保険金融損益のうち変額保険関連損益*3・為替差額	2,167	312
有価証券の売却損益	△6	1,021
その他一過性の損益	-	-
上記に係る税効果	5	△185
損害保険事業関連調整項目	-	-
銀行事業関連調整項目	-	-
その他調整項目	-	-
調整項目合計	△14	448
税引後修正純利益	200	203

*1 変額保険・変額個人年金保険見合いで有する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じるもの
*2 ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト。純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定（FVO指定）した債券から生じる当期の経過利息（期首金利に基づく）を含む
*3 変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動ならびに金利及びその他金融リスクの変動による影響

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、ソニー（SGC及びその連結子会社）の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭又は書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーの経営陣の仮定、決定ならびに判断にもとづいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にソニーが将来の見通しを見直して改訂するとは限りません。ソニーはそのような義務を負いません。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- (1) ソニーが製品品質を維持し、その製品及びサービスについて顧客満足を維持できること
- (2) 激しい価格競争、継続的な新製品や新サービスの導入、急速な技術革新、ならびに主観的で変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい市場競争の中で、十分なコスト削減を達成しつつ顧客に受け入れられる製品やサービス（イメージセンサー、ゲーム及びネットワークのプラットフォーム、スマートフォンならびにテレビを含む）をソニーが設計・開発し続けていく能力
- (3) ソニーがハードウェア、ソフトウェア及びコンテンツの融合戦略を成功させられること、新しい技術や配信プラットフォームを考慮に入れた販売戦略を立案し遂行できること
- (4) ソニーと他社との買収、合併、投資、資本的支出、構造改革その他戦略的施策の成否を含む（ただし必ずしもこれらに限定されない）ソニーの戦略及びその実行の効果
- (5) ソニーや外部の供給業者、サービスプロバイダやビジネスパートナーが事業を営む市場における法規制及び政策の変化（課税、及び消費者の関心が高まっている企業の社会的責任に関連するものを含む）
- (6) ソニーが継続的に、大きな成長可能性を持つ製品、サービス、及び市場動向を見極め、研究開発に十分な資源を投入し、投資及び資本的支出の優先順位を正しくつけて行い、技術開発や生産能力のために必要なものも含め、これらの投資及び資本的支出を回収することができること
- (7) ソニーの製品及びサービスに使用される部品、ソフトウェア、ネットワークサービス等の調達、ソニーの製品の製造、マーケティング及び販売、ならびにその他ソニーの各種事業活動における外部ビジネスパートナーへの依存
- (8) ソニーの事業領域を取り巻くグローバルな経済・政治情勢、特に消費動向
- (9) 国際金融市場における深刻かつ不安定な混乱状況や格付け低下の状況下においても、ソニーが事業運営及び流動性の必要条件を充足させられること
- (10) ソニーが、需要を予測し、適切な調達及び在庫管理ができること
- (11) 為替レート、特にソニーが極めて大きな売上や生産コストを計上し、又は資産・負債及び業績を表示する際に使用する米ドル、ユーロ又はその他の通貨と円との為替レート
- (12) ソニーが、高い能力を持った人材を採用、確保できるとともに、それらの人材と良好な関係を維持できること
- (13) ソニーが、知的財産の不正利用や窃取を防止し、知的財産に関するライセンス取得や更新を行い、第三者が保有する知的財産をソニーの製品やサービスが侵害しているという主張から防御できること
- (14) 金利の変動及び株式・債券市場における好ましくない状況や動向（市場の変動又はボラティリティを含む）が金融事業の収入及び営業利益に与える悪影響
- (15) 生命保険など金融商品における顧客需要の変化、及び金融事業における適切なアセット・ライアビリティ・マネージメント遂行の成否
- (16) 大規模な災害、紛争、感染症などに関するリスク
- (17) ソニーあるいは外部のサービスプロバイダやビジネスパートナーがサイバーセキュリティに関するリスク（ソニーのビジネス情報や従業員や顧客の個人を特定できる情報への不正なアクセスや事業活動の混乱、財務上の損失の発生を含む）を予測・管理できること
- (18) 係争中又は将来発生しうる法的手続又は行政手続の結果

ただし、業績に不利な影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。ウクライナ・ロシア情勢及び中東情勢に関する変化、ならびに一連の米国の関税政策の変更は、上記のリスク及び不確実な要素の多くに悪影響を与える可能性があります。重要なリスク及び不確実な要素については、ソニーの最新の有価証券報告書（その後に提出される半期報告書を含む）又は米国証券取引委員会に提出された最新の年次報告書（Form 20-F）も併せてご参照ください。